

総合計画審議会委員のご意見及び対応

委員	ご意見(要旨)	対応
1	安藤委員	
	イノベーションを生み出す主体は若者／女性／海外人材などの多様な人材。彼ら・彼女らの持つポテンシャルを發揮させるための環境整備により、多様な人材を惹きつけ、産業競争力を高めていくことが必要。	現在、地方回帰の流れを捉えた人材誘致の推進により若者や女性など多様な人材を惹きつけ、産業競争力の向上を図っており、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
2	長野県らしい基本的な目標として、ゼロカーボンに向けた産業構造の転換を打ち出すべき。	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「環境制約をチャンスにする」を記載しました。また、主要政策(案)に「持続可能な脱炭素社会をつくる」及び「成長産業の創出・振興を図る」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
3	DXの変革が遅い。「デジタル長野」を打ち出して率先すべき。	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「デジタル技術を徹底活用する」を記載しました。
4	学びの県を標榜する長野県としてのリカレント教育、高等教育の強化、幼児教育に始まる国際人材の育成等、産官学連携による長野県らしい特長ある人材育成を打ち出すべき。	主要政策(案)に「産業人材を育成・確保する」や「生涯にわたり学び合える地域の拠点をつくる」等を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
5	牛越委員	
	次期計画は、コロナ後の地域社会をどのように提示するかが課題。	新型コロナウイルス感染症による社会、経済への広範囲にわたる影響を「長野県の取り巻く状況」において記載しました。今後は、コロナ後の社会を見据え「基本目標」や「めざす姿」を検討してまいります。
6	県内各地域の多様性を計画に反映するとともに、県内における都市部と周辺部の不均衡の是正が必要。	現在、「長野県過疎地域持続的発展方針」に基づき、条件不利性の克服を念頭に施策を展開しており、次期計画においても施策への反映を検討するとともに、10の広域圏ごとに独自性を発揮した地域計画を作成し、各地域の多様性を計画に反映してまいります。
7	(「望ましい未来」として) 気候の爽やかさが感じられる故郷や、みながゼロカーボンを意識して行動する穏やかな社会	「持続可能な脱炭素社会をつくる」、「地域の特徴を生かし、自然の恵みを生かした地域をデザインする」のめざす姿(案)に趣旨を反映しました。
8	(「望ましい未来」として) 子どもから高齢者まで一人ひとりが大切にされる社会	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「誰にでも居場所と出番がある社会を創る」を記載しました。
9	(「望ましい未来」として) 弱者ほどDXの恩恵を多く享受できる、そのために、身近に操作を教わる人材がいる	「デジタルの力を活用して便利で快適な暮らしを実現する」のめざす姿(案)に趣旨を反映しました。
10	(「望ましい未来」として) 自分の行動の交通手段が提供される	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「社会的共通資本を維持・発展させる」を記載しました。
11	(「望ましい未来」として) 個々に自身の避難行動がとれる	信州防災アプリを活用したマイタイムライン作成など、逃げ遅れゼロプロジェクトの強化・推進事業に取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
12	(「望ましい未来」として) 言葉や文化の違いを超えて信頼関係が結ばれる	「移住・交流・多様ななかかわりを展開する」のめざす姿(案)に趣旨を反映しました。
13	(「望ましい未来」として) 魅力あふれる地域づくりにより、本県への人の誘導が実現する	「移住・交流・多様ななかかわりを展開する」のめざす姿(案)に趣旨を反映しました。
14	(「望ましい未来」として) 安定し継続的な雇用関係が再構築された社会	「働き方改革の推進と就労支援の強化を図る」のめざす姿(案)に趣旨を反映しました。
15	(「望ましい未来」として) 個人事業主が、自分のライフスタイルに沿った生き方ができる社会	現在、場所や時間にとらわれない多様な働き方の普及に取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
16	(「取組の方向性」として) 保育園、高齢者施設、図書館、体育館などが一体となった公共施設の整備	市町村が策定した「公共施設総合管理計画」を踏まえ、公共施設等の最適配置の取組について、地方債の活用などの財政的助言等により支援してまいります。
17	(「取組の方向性」として) 専門家以外が便利に使える技術の優先開発、ネットで容易に学べる仕組み	現在、工業技術総合センターが開発した、AI活用を支援するための「AIキット」の貸与等や、HPでの技術情報の発信に取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。

委員	ご意見(要旨)	対応
18	(「取組の方向性」として) 奨学金制度の拡充	家計の状況にかかわらず子どもが大学等の高等教育への進学を志すことができるよう、ご意見の趣旨は、今後の施策への反映を検討してまいります。
19	(「取組の方向性」として) 災害の激発やコロナ禍の今こそ思い切った投資を	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「災害や新型コロナウイルス感染症の経験を生かす」を記載しました。
20	(「取組の方向性」として) リダンダンシー(冗長性)を持たせた災害防止対策	現在、高規格道路のミッシングリンク解消、災害時における道路の迂回機能強化や緊急輸送路の強靱化など、社会基盤の強靱化・耐震化の推進に取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
21	(「取組の方向性」として) 全員がマイタイムラインの作成	信州防災アプリ活用など、マイタイムラインの作成・周知に取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
22	(「取組の方向性」として) 出会いの場の創設	現在、長野県婚活支援センターやながの結婚マッチングシステムによる支援を行っており、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
23	(「取組の方向性」として) 家から通える距離で出産できる環境	現在、県内で分娩を取り扱う産科医の確保等に取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
24	(「取組の方向性」として) 姉妹都市などと定期的な児童・生徒の交流機会の創出	河北省とミズーリ州と青少年の相互派遣、県内への視察研修などを通して交流を続けており、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
25	(「取組の方向性」として) 最低賃金の引上げにより所得の二極分化を是正	主要政策(案)に「所得向上を推進する」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
26	(「取組の方向性」として) 自分のやりたい仕事の起業・創出	現在、次世代産業の創出を目的とした創業支援拠点「信州スタートアップステーション」での個別相談、セミナー、集中的伴走支援などに取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
27	人生100年時代の学びとして、生涯学習は強調して磨き上げていく必要がある。県民からすれば、小集落で直面している課題から社会全体で直面している課題すべてが「生涯学習」というテーマになり、地域づくりに直結する。	現在、公民館・社会教育に係る指導者層の企画立案力や事業展開力の向上など人材育成に取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
28	文化芸術スポーツは日常の中で無くてはならないもの。県民にとって、人と人との交流の接点になり、行政から見ると、地域社会参画への糸口という意義がある。地域社会の再生のために、経済以上に人の絆の回復が重要。	主要政策(案)に「文化芸術を振興し、文化芸術の力により新たな価値を創造する」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
29	「誰一人取り残さない」の理念のもと、個人の尊厳を守ることと、地域社会を守ることの二つが大きなキーワード。	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「誰にでも居場所と出番がある社会を創る」を記載しました。

委員	ご意見(要旨)	対応
30	脱炭素の取組（エシカル消費・経済への以降、エネルギーの地産地消など）の先進地域として優位性を確立し、活力ある信州を創る。	主要政策（案）に「持続可能な脱炭素社会をつくる」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
31	（「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として）内向きにならないように世界に開かれた信州 （「望ましい未来」として）多くの外国人が定住し、訪れる未来 （「取組の方向性」として）外国人の受け入れ体制の充実	政策構築・推進に当たっての共通視点（案）に「世界とのつながりを常に意識する」を記載しました。
32	（「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として）不転退の決意とアジャイルな実行	計画推進の基本姿勢に「主体性とホスピタリティを持ち、スピーディーに行動する」を記載しました。
33	（「望ましい未来」として）付加価値の高い産業が存在する活力ある未来	「成長産業の創出・振興を図る」のめざす姿（案）に趣旨を反映しました。
34	（「取組の方向性」として）産学官の連携強化やベンチャーの育成や大企業の研究施設誘致も	現在、産学官の連携強化やベンチャー育成、研究施設の誘致に取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
35	（「取組の方向性」として）少子化対策の充実	政策構築・推進に当たっての共通視点（案）に「少子化と人口減少に立ち向かう」を記載しました。また、主要政策（案）に「若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
36	中信地域の交通網の整備。中部縦貫自動車道、松本空港、中央道や中央線の整備など隣県との連携を強化。松本空港は海外に航路を拡充。	現在、高規格道路等の道路ネットワークの整備や信州まつもと空港の国際化に取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
37	自治の力で拓くという言葉は非常に良い。誰かに頼るのではなく自らが主体的に新時代を創り上げていくという気概は必要。	「持続可能な地域づくりを推進する」のめざす姿に反映しました。
38	各地域の活力を生かしつつも、県としての総合力が発揮できるような取り組みが必要。	主要政策（案）に「持続可能な地域づくりを推進する」を位置づけ、自主的・主体的な地域づくりの支援として地域振興局のリーダーシップの発揮など、施策への反映を検討してまいります。
39	医療体制は松本モデルを全県展開。	現在、医療機関の役割分担と連携を推進しており、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。

委員	ご意見(要旨)	対応
40	梅崎委員 長野県の魅力は自然環境や生活環境が整っていること。農林業、食料・エネルギー自給といった施策により、長所を伸ばすことが必要。	「長野県の特性」の「変化に富んだ豊かな自然環境」に反映しました。また、農村型地域運営組織など多面的機能を持つ農林業の振興、地産地消の推進を「主な施策」として検討し、自然環境の保全に努めてまいります。
41	近年の課題としては、自然災害や高齢者の増加、少子化の進行など。特に少子化は全国的な問題であるが、出産・子育て・教育・医療・介護の一貫支援など、「子育て・教育は信州で！」と思える社会・環境整備が必要。	政策構築・推進に当たっての共通視点（案）に「少子化と人口減少に立ち向かう」を記載しました。また、主要政策（案）に「若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
42	芸術文化スポーツの日常的な触れ合いのため、県としての取組を。	主要政策（案）に「文化芸術を振興し、文化芸術の力により新たな価値を創造する」及び「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催を契機とし、スポーツ振興を推進する」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
43	災害時の保養所・旅館・民宿・ホテルの借上げ、個別スペースの設置や、JR、NEXCO、電力会社等との逃げ遅れゼロに関する連携・情報共有が必要。	現在、協定の締結などによる企業との連携に取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
44	（「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として）グローバル(地域・日本と世界) （「望ましい未来」として）日本や世界に誇れる地域(信州)	政策構築・推進に当たっての共通視点（案）に「世界とのつながりを常に意識する」を記載しました。
45	（「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として）ストレスフリー(な生活／社会) （「望ましい未来」として）ストレスフリーで誰もが思いの叶う社会	政策の柱（案）に「快適でゆとりのある暮らしを創造する」を位置づけました。また、基本目標への反映を検討してまいります。
46	（「取組の方向性」として）休耕地、空き家の有効活用	現在、遊休農地の再生活用や県内移住検討者向け空き家情報サイト「楽園信州空き家バンク」への物件掲載による利活用マッチングに取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
47	教育、人材が重要。次期計画のキーワードを「学び活かし合う地域の力」と考えた。	政策の柱（案）に「誰もが主体的に学び続けられる環境をつくる」を位置づけました。
48	「ゆとり・遊び」は、人材育成、子育てにおいても大事。	政策の柱（案）に「快適でゆとりのある暮らしを創造する」を位置づけました。また、変化に富んだ豊かな自然環境を活用した信州型自然保育の推進などを、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。

委員	ご意見(要旨)	対応
49	多様な教育を担う私学の果たす役割は大きい。変化する時代でも学び続ける意欲(面白さ)を育てるため、幼児教育からの文化体験、社会体験、自然体験を大切に。	主要政策(案)に「一人ひとりが自分にとっての幸福を実現できる学びを進める」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
50	窪田委員 「安心・安全」がキーワード。安心して子育てができる、安全に教育が受けられる、医療・介護や防災対策も充実している、産業や経済、農林業も安心・安全に寄与することが大事。	ご意見の趣旨は、「基本目標」や「めざす姿」への反映を検討してまいります。
51	遊びに行くなら首都圏だが、学び、働き、生活するなら信州だと、長野県の魅力を効果的に発信することが必要。	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「信州の強み・地域の個性を生かす」を記載しました。
52	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) 少子化の流れを変える	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「少子化と人口減少に立ち向かう」を記載しました。また、主要政策(案)に「若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
53	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) 信州を愛し、誇れる	ご意見の趣旨は、「基本目標」や「めざす姿」への反映を検討してまいります。
54	(「取組の方向性」として) 地産地消意識に対する取組の一層の促進	主要政策(案)に「地域内経済循環を推進する」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
55	神戸委員 人口減少対策(若者のU・Iターン、人が集まる多様な教育の提供、交通・生活サービスのアクセスなど)が重要。	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「少子化と人口減少に立ち向かう」を記載しました。また、主要政策(案)に「移住・交流・多様なかかわりを展開する」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
56	女性に限らない働き方改革が必要。「結婚・出産・子育てを負担に感じない」社会が望ましい。	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「少子化と人口減少に立ち向かう」を記載しました。また、主要政策(案)に「若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
57	課題は仕事・雇用、子供の教育。県内の中小企業は事業承継ができず廃業が多いうえ、コロナの影響で厳しい経営環境下にある。経営支援のサポートの充実、若者のスタートアップを含めた起業の支援が重要。	現在、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者の経営支援に取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
58	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) 暮らしやすさ、豊かさ、暮らしのゆとり	政策の柱(案)に「快適でゆとりのある暮らしを創造する」を位置づけました。
59	各種産業において様々な人材育成が重要課題。リカレント教育等生涯自主的な学びを継続できる環境の整備が重要。	主要政策(案)に「産業人材を育成・確保する」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。

委員	ご意見(要旨)	対応
60	先が見通せない時代、県民一人ひとりの「人間力」を養うことが必要。そのためには、長野県の教育県の伝統、自然などの強みを活かし、幼児期の非認知的教育が重要。	主要政策(案)に「一人ひとりが自分にとっての幸福を実現できる学びを進める」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
61	近藤委員 地域の伝統文化(藝能、工芸、祭りなど)の活性化・継承が重要。社会的地位向上と発信強化が必要。文化と経済が融合し、経済の力文化をもっと発展させる。	主要政策(案)に「文化芸術を振興し、文化芸術の力により新たな価値を創造する」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
62	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) 主体性・自律性・自己肯定感	政策の柱(案)に「誰もが主体的に学び続けられる環境をつくる」を位置づけました。
63	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) 地元への誇りと自信	ご意見の趣旨は、「基本目標」や「めざす姿」への反映を検討してまいります。
64	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) デジタル・デバイドの解消	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「デジタル技術を徹底活用する」を記載しました。
65	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) 脱プラスチック (「望ましい未来」として) シェアリング・エコミーの進展によるモノの生産・所有・廃棄の減少	主要政策(案)に「循環経済への転換に挑戦する」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
66	(「望ましい未来」として) 生態系のバランスの回復	「人と自然との共生社会を実現する」のめざす姿(案)に趣旨を反映しました。
67	(「取組の方向性」として) 災害時の在留外国人の保護	長野県多文化共生相談センターにおいて災害時の相談支援を実施しており、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
68	今後、停電や大規模なテロは避けられず、インフラが停止した際の危機管理体制の構築や訓練が重要ではないか。	インフラ停止への対応を含む総合防災訓練やテロ等を想定した国民保護訓練に取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
69	“世界に開かれた信州”とあるが、姉妹都市の制度を活用するよう働きかけを。	姉妹・友好提携先である河北省と青少年の相互派遣、県内への視察研修などを通して交流を続けており、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
70	ダイバーシティには女性や障がい者に加え、外国人も入れるべき。国際的な義務を果たすと同時に、県民の国際性も高まる利点がある。	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「誰にでも居場所と出番がある社会を創る」を記載しました。

委員	ご意見(要旨)	対応
71	豊かさを基軸とした持続可能な支え合いの社会の創造が必要。	ご意見の趣旨は、「基本目標」への反映を検討してまいります。
72	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) 食糧やエネルギーの自給	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「世界とのつながりを常に意識する」を記載するとともに、「循環経済への転換に挑戦する」、「地域内経済循環を推進する」のめざす姿(案)に趣旨を反映しました。
73	(「取組の方向性」として) 労働力や各産業間の連携による相乗効果、魅力ある商品づくり	人口急減地域における特定地域づくり事業協同組合制度の活用促進による業種間の担い手確保や6次産業化による魅力ある商品づくり等産業間連携に取り組んでおり、次期計画においても政策への反映を検討してまいります。
74	「美しい」というキーワードは、景観をはじめ、互いを支え合う、額に汗流し働く姿、努力するさまなど、「美しい」との表現が適切。	ご意見の趣旨は、「基本目標」や「めざす姿」への反映を検討してまいります。
75	計画の作成段階で、県民の参加・参画を。77市町村の特徴、想いを吸い上げて、共通項を見出し、ベクトルをどうするか検討。	これまで、「信州これから会議」や県政タウンミーティング、県外在住の若者や子育て世代との意見交換、地域懇談会や拡大版地域戦略会議などにおいて、県民、関係団体、市町村等との意見交換を重ねてまいりました。ご意見を踏まえ次期計画を策定してまいります。
76	脱炭素社会の方向は重要。地域で協力して目指すよう進めていきたい。	主要政策(案)に「持続可能な脱炭素社会をつくる」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
77	「自然が豊かで学びやすい」といった長野県の強みを活かす政策を表に出すことが重要。日本一多い公民館が大きな役割を果たす。公民館と地域運営組織との連携を活発に。	現在、公民館・社会教育に係る指導者層の企画立案力や事業展開力の向上など人材育成に取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
78	女性の非正規が多いことがこれからの問題。一度退職しても、新しい仕事に就けるようにするなど「学び直し」が大事。女性自身が「活躍する」意識を持てるような学びの機会を。	主要政策(案)に「若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」及び「働き方改革の推進と就労支援の強化を図る」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
79	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) リカレント教育	主要政策(案)に「生涯にわたり学び合える地域の拠点をつくる」、「産業人材を育成・確保する」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
80	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) 地産地消	主要政策(案)に「地域内経済循環を推進する」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
81	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) 長野県は一つの家族	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「誰にでも居場所と出番がある社会を創る」を記載しました。
82	(「望ましい未来」として) 県民一人ひとりが自信と誇りをもち、他人を思いやり支え合って暮らせる社会	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「誰にでも居場所と出番がある社会を創る」を記載しました。

委員	ご意見(要旨)	対応
83	中村委員	
	well-beingはキーワードで、『個人と社会の幸福の循環システムを構築する』ために、経済価値—社会価値—環境価値のトータルバランスをとりながら、県民のしあわせ、県民一人ひとりが健康で健全で心豊かに過ごせる未来を描く。	ご意見の趣旨は、「基本目標」への反映を検討してまいります。
84	サステイナブルとWell-beingがキーワードの両軸。持続可能性とモノの豊かさ・心の豊かさを同時に達成することを望まれているのでは。	ご意見の趣旨は、「基本目標」への反映を検討してまいります。
85	デジタルやサステイナブルな社会に必要な次世代の人材を育成する学びの機会の充実が必要。	主要政策（案）に「産業人材を育成・確保する」及び「生涯にわたり学び合える地域の拠点をつくる」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
86	『学びの県』を標榜している長野県にふさわしい施策を。“米百俵”的発想に基づいた教育重点施策を追加することが必要。	主要政策（案）に「一人ひとりが自分にとっての幸福を実現できる学びを進める」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
87	学びの機会の充実が重要。「学びと自治」は素晴らしいキーワード。次の総合計画でも軸としたい。	政策の柱（案）に「誰もが主体的に学び続けられる環境をつくる」を位置づけました。
88	（「望ましい未来」として）例えば、個々の価値観が尊重される包容力のある社会／生きがいやりがい働きの社会／男女共同参画が進んだ社会／寛容でインクルーシブな社会	「年齢、性別、国籍、障がいの有無等が障壁とならない公正な社会をつくる」のめざす姿（案）に趣旨を反映しました。
89	（「望ましい未来」として）包摂性こそ共生社会の原点と考える。包摂機能に富んだ地域として長野県の認知度が高まればと思う	政策構築・推進に当たっての共通視点（案）に「誰にでも居場所と出番がある社会を創る」を記載しました。
90	（「取組の方向性」として）先が見通せない不確実性の高い時代だからこそ、個人はもとより、自治体や企業の「情報デジタル力」は大きな力となる	政策構築・推進に当たっての共通視点（案）に「デジタル技術を徹底活用する」を記載しました。
91	産学連携がキーワードであり、「共創」が重要。	計画推進の基本姿勢（案）に「多様なステークホルダーとの共創を推進する」を記載しました。
92	根橋委員	
	多様な働き方・生き方が選択できる社会が構築され、誰もが公正で多様な働き方を通じて社会参加でき、社会的・経済的に自立していることが必要。	主要政策（案）に「働き方改革の推進と就労支援の強化を図る」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
94	多様性、包摂のもと、様々な主体が地域に参加・参画し、連帯して社会課題を解決することが重要。	政策構築・推進に当たっての共通視点（案）に「誰にでも居場所と出番がある社会を創る」を記載しました。
95	（「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として）VUCA時代(正解があった時代から正解がない時代。取り巻く情勢が目まぐるしく変化し、将来の予測が困難な時代において、変化に取り残されない意思決定と政策・施策の展開)	ご意見の趣旨を「長野県を取り巻く状況（案）」の前文に記載しました。
96	（「望ましい未来」として）最も遠くに取り残されている方々に、第一に支援・サービスが行き届く社会が構築されている	「年齢、性別、国籍、障がいの有無等が障壁とならない公正な社会をつくる」のめざす姿（案）に趣旨を反映しました。
97	（「望ましい未来」として）県民が相互に支え合い、自己実現に挑戦できるセーフティネットが組み込まれている活力あふれる社会	「年齢、性別、国籍、障がいの有無等が障壁とならない公正な社会をつくる」のめざす姿（案）に趣旨を反映しました。
98	（「取組の方向性」として）地域の実情に応じたアウトリーチ型支援体制の構築	現在、生活就労支援センター（まいさぼ）を中心にアウトリーチ型支援体制を構築しており、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
99	（「望ましい未来」として）技術革新の進展による果実を、広く県民や企業が活用できている	政策構築・推進に当たっての共通視点（案）に「デジタル技術を徹底活用する」を記載しました。
100	（「望ましい未来」として）地域コミュニティが結び直され、平時から「顔の見える関係」が構築できている	「持続可能な地域づくりを推進する」のめざす姿（案）に趣旨を反映しました。

委員	ご意見(要旨)	対応
101	根橋委員 〔「望ましい未来」として〕 国と地方の垣根を越えた行政のワンストップサービスが進められている	主要政策(案)に「デジタルの力を活用して便利で快適な暮らしを実現する」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
102	〔「望ましい未来」として〕 技術革新により生活の質(QOL)が高まり豊かな生活が実現している	「デジタルの力を活用して便利で快適な暮らしを実現する」のめざす姿(案)に趣旨を反映しました。
103	〔「望ましい未来」として〕 気候変動対応やDXの進展をはじめとする経済・社会の移行期に生じる負のインパクトを最小化している	「成長産業の創出・振興を図る」、「循環経済への転換に挑戦する」、「産業人材を育成・確保する」のめざす姿(案)に趣旨を反映しました。
104	〔「取組の方向性」として〕 大規模災害への備え、県土の強靱化・耐震化推進	現在、高規格道路のミッシングリンク解消、災害時における道路の迂回機能強化や緊急輸送路の強靱化など、社会基盤の強靱化・耐震化の推進に取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
105	〔「取組の方向性」として〕 子ども・子育て、介護を社会全体で支える仕組の構築	主要政策(案)に「充実した医療・介護提供体制を構築する」及び「若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
106	〔「取組の方向性」として〕 すべての子どもたちに学ぶ機会を保障するため、教育費無償化	家計の状況にかかわらず子どもが大学等の高等教育への進学を志すことができるよう、ご意見の趣旨は、次期計画において施策への反映を検討してまいります。
107	〔「取組の方向性」として〕 地域福祉を支えるコミュニティ機能を補完するためのソフト、ハード両面からの対策	現在、社会福祉施設などの基盤整備や地域福祉を支える関係者の活動支援などに取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
108	〔「取組の方向性」として〕 県内企業の人材ニーズの掘り起こしとマッチング事業との取り繋ぎ	現在、プロフェッショナル人材戦略拠点により活用ニーズの掘り起こしを実施しており、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
109	〔「取組の方向性」として〕 IT人材のみならず、優れた技能・技芸を尊重・継承する環境を実現	主要政策(案)に「地域に根差した産業の活力を高める」、「産業人材を育成・確保する」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
110	〔「取組の方向性」として〕 性別、性的指向と性自認などに関するあらゆる差別を禁止し、ジェンダー・バイアス(無意識を含む性差別的な偏見)を横断的に払拭	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「誰にでも居場所と出番がある社会を創る」を記載しました。
111	「確かな暮らし」を時代背景に沿って進化させ、基軸にすべき。	ご意見の趣旨は、「基本目標」への反映を検討してまいります。
112	すべてはやはり人。今の時代の「多様性と包摂」につながる。	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「誰にでも居場所と出番がある社会を創る」を記載しました。
113	基本的価値観は二者択一でなく、行政は両者をどうバランスとるかの方向性を示す。	ご意見の趣旨を踏まえ、「計画推進の基本姿勢」を検討してまいります。

委員	ご意見(要旨)	対応
114	歴史・文化に根差した長野県ならではの観光ブランディングを、個でなく地域で展開する必要。	現行計画においても、DMO形成支援や地域資源を活かした観光地域づくりを推進し、「稼ぐ」観光地域づくりに向けて取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
115	野原委員 総合計画は総花的になってしまう。何が売りで何が特徴的なのか、県民に訴えるべき。	ご意見を踏まえ、「重点プロジェクト」を設けるなど、メリハリを意識した計画となるよう心掛け、県民の皆様にはわかりやすく伝える方法を検討してまいります。
116	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) あこがれの信州(「美しい」ではインパクトがない)	ご意見の趣旨を踏まえ、「基本目標」を検討してまいります。
117	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) デジタル変革(DX)	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「デジタル技術を徹底活用する」を記載しました。
118	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) 人生100年時代	長野県を取り巻く状況(案)に「ライフスタイルや価値観の多様化」を記載したほか、政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「少子化と人口減少に立ち向かう」を記載しました。
119	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) 絶対価値の創造	ご意見の趣旨を踏まえ、「基本目標」や「めざす姿」を検討してまいります。
120	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) 東京一極集中からの地方分散	長野県を取り巻く状況(案)「東京一極集中から地方分散への動き」に記載したほか、「移住・交流・多様なかわりを展開する」のめざす姿(案)に趣旨を反映しました。
121	(「取組の方向性」として) 地方移住。二地域居住の推進が将来の要になると思う。人、企業をひきつける条件、整備としくみを具体的に示す必要	現在、コロナ禍における首都圏を中心とした地方回帰の機運の高まりを好機と捉え、行政と民間団体、事業者がオール信州の体制で人や企業を呼び込む様々な分野の取組を「信州回帰プロジェクト」としてパッケージ展開しており、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
122	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) 少子高齢化	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「少子化と人口減少に立ち向かう」を記載しました。
123	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) 労働人口の流動化	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「少子化と人口減少に立ち向かう」を記載しました。
124	(「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として) 医療インフラの充実	政策構築・推進に当たっての共通視点(案)に「社会的共通資本を維持・発展させる」を記載しました。
125	(「望ましい未来」として) 自動運転・EV化に対する公共交通、物流インフラへの対応など具体的に長野県の立ち位置を示す必要	「確かな暮らしを支える地域公共交通を確保する」のめざす姿(案)に趣旨を反映しました。
126	産業についてはメディカル、航空宇宙、ランドスケープ等の分野のリーダー県を目指す。	「成長産業の創出・振興を図る」のめざす姿(案)に趣旨を反映しました。
127	自然災害、政情不安で世の中が非常に不安定に。県民・国民は先行きが不安。安心な暮らしを守るというのが行政としての役割。	政策の柱(案)に「持続可能で安定した「確かな暮らし」を守る」を位置づけました。

委員	ご意見(要旨)	対応
128	地域力を強化し、それぞれの市町村が地域の特徴をいかんなく発揮し、そこに住んでいる住民の皆さんが安心して暮らせる未来であってほしい。	10の広域圏ごとに独自性を発揮した地域計画を作成し、各地域の多様性を計画に反映してまいります。
129	羽田委員 デジタル社会への変革が進む中で、特に小規模町村では人材など推進する体制が極めて脆弱。小規模自治体を取り残すことがないよう、地域や自治体の大小によりデジタル社会の実現により受ける恩恵に格差が出ないよう配慮を。	県と77市町村等が参加する長野県先端技術活用推進協議会を設置（令和2年4月）し、情報システムや取組方法の共同化の推進等、県内全ての市町村のデジタル化における底上げに向けた取組を行っております。ご意見の趣旨は、今後の施策への反映を検討してまいります。
130	（「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として）「互いに認め合える社会」も大切な視点	「年齢、性別、国籍、障がいの有無等が障壁とならない公正な社会をつくる」のめざす姿（案）に趣旨を反映しました。
131	柳澤委員 「誰でも幸せを感じ、豊かに暮らせている長野県」が基本となり、その一つは地域共生社会の実現。誰一人取り残さないというSDGsの理念のもと、他者との違いを認めながら共に支え合い、それぞれの能力が発揮できる地域の実現が必要。	政策の柱（案）に「多様性が尊重される温かく公正な社会をつくる」を位置づけました。
132	高齢化への対応として、住居の住み替え、公共交通機関の連携によるコンパクトシティの推進、介護人材の確保、フレイル対策、地域包括ケア体制の推進、元気な高齢者の地域づくりへの参加などが必要。	主要政策（案）に「健康づくりを推進する」、「充実した医療・介護提供体制を構築する」、「高齢者の活躍を支援する」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。
133	（「基本目標や未来像を考える上で重要な考え方・キーワード」として）産業・教育・文化・医療・福祉等々社会を支えているのは人。それぞれの分野の役割を担う「人づくり」はすべての分野で長野県を支える肝	「産業人材を育成・確保する」、「充実した医療・介護提供体制を構築する」、「生活必需産業の担い手確保を推進する」のめざす姿（案）に趣旨を反映しました。
134	（「望ましい未来」として）若者が自らの可能性や個性を伸ばし地域社会で活躍している	「一人ひとりが自分にとっての幸福を実現できる学びを進める」のめざす姿（案）に趣旨を反映しました。
135	（「望ましい未来」として）多様な主体が連携し食・エネルギーが、地産地消で賄われている	政策構築・推進に当たっての共通視点（案）に「世界とのつながりを常に意識する」を記載するとともに、「循環経済への転換に挑戦する」、「地域内経済循環を推進する」のめざす姿（案）に趣旨を反映しました。
136	（「望ましい未来」として）文化・スポーツが暮らしに根付いている	「文化芸術を振興し、文化芸術の力により新たな価値を創造する」、「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催を契機とし、スポーツ振興を推進する」のめざす姿（案）に趣旨を反映しました。
137	（「望ましい未来」として）「コロナ禍から見た本当の意味での豊かさの実現」	ご意見の趣旨は、「基本目標」への反映を検討してまいります。
138	（「望ましい未来」として）人々の生活、健康、医療、環境、福祉、農業、などの領域の生命にかかわる産業が発展し、新たなつながりが生まれ支え支えられ、誰でもが地域で安心して活いき暮らし、幸せを実感できる社会	政策の柱（案）に「持続可能で安定した「確かな暮らし」を守る」を位置づけました。
139	（「取組の方向性」として）コロナ蔓延時における濃厚接触者家族への支援の充実	政策構築・推進に当たっての共通視点（案）に「災害や新型コロナウイルス感染症の経験を生かす」を記載しました。
140	（「取組の方向性」として）脱炭素社会の推進、環境教育の推進	政策構築・推進に当たっての共通視点（案）に「環境制約をチャンスにする」を記載しました。
141	（「取組の方向性」として）児童を含めた住民の防災教育の推進、応急・復旧対策の充実	現在、震災や風水害等を想定した総合防災訓練、小中学校での防災教育に取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
142	（「取組の方向性」として）オンライン商談会・情報発信の仕方など充実	現在、デジタル技術を活用した商談会や情報発信のなどの取組を行っており、次期計画においても、施策への反映を検討してまいります。
143	（「取組の方向性」として）住民の要望、利用率等リサーチし地域にあった公共交通の在り方を検討	現在、長野県地域公共交通計画の策定を行っており、10圏域ごとに地域別部会を立ち上げ、地域公共交通の在り方について地域の意見を集約しており、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
144	（「取組の方向性」として）障害やLGBTQ等人権意識の醸成	現在、障がい者共生社会や人権を尊重する社会づくりに取り組んでおり、次期計画においても施策への反映を検討してまいります。
145	（「取組の方向性」として）多様性を力にしたイノベーションの創出に高齢者も	主要政策（案）に「高齢者の活躍を支援する」を位置づけ、施策への反映を検討してまいります。